

別紙 要件定義書

項目	内容	
共通要件	導入方法	パッケージ製品であること。
	サーバ環境	<p>サーバ OS は Windows Server 2016 以降のバージョンであること。</p> <p>当市が用意する仮想環境を利用する方式、新規調達する方式のどちらでも可とし、採用する方式を明記してください。ただし、いずれの場合においてもスペック等を明記すること。また、仮想環境で提案する方式の場合、仮想基盤の台数等によりライセンス等の費用に変動がある場合は明記すること。</p> <p>なお、スタンドアロン方式での提案の場合、調達等は不要とする。</p>
	クライアント環境	<p>原則、新規で端末 1 台を用意することとし、調達にあたっては、下記スペック等を満たすこと。ただし、提案内容により当市が保有する既存の端末を利用することが適切である場合には、既存端末の利用を可とする。</p> <p>形状：デスクトップ型</p> <p>OS：Windows 10 各バージョンに対応できること</p> <p>CPU：Intel(R) Core(TM) i3 以上、もしくは同等以上</p> <p>メモリ：8GB 以上</p> <p>Office：Microsoft Office Standard 2016</p>
	接続要件	住基 LAN に接続すること。
	信頼性要件	障害時を想定し、バックアップ等を備え、早期復旧が可能であること。
	セキュリティ要件	当市のセキュリティポリシーを遵守すること。
	運用性要件	<p>容易に維持管理できる構成とすること。</p> <p>職員での入力作業が用意に可能であること。</p>
拡張性要件	今後の拡張性について明示すること。	
機能要件	下水道台帳管理機能	<p>地理情報管理機能</p> <p>下水道台帳管理機能</p> <p>排水設備台帳管理機能</p>
	維持管理情報管理機能	維持管理機能
	工事台帳管理機能	工事台帳管理機能
	資産台帳管理機能	資産台帳管理機能
	ストックマネジメント 計画支援機能	<p>改築シナリオ作成機能</p> <p>劣化予測式作成機能</p> <p>リスク値計算機能</p>

		現況予測機能 施設分析機能 改築シミュレーション機能
開発・導入要件	開発体制・役割等	要求する機能を熟知した知識・経験のある者を含む開発・導入体制とすること。
	開発スケジュール	下水道台帳管理機能 構築：令和4年3月31日まで 運用開始：令和4年4月1日から 維持管理機能 構築：令和4年3月31日まで 運用開始：令和4年4月1日から 工事台帳管理機能 構築：令和4年12月10日まで 運用開始：令和4年12月11日から 資産台帳管理機能 構築：令和4年12月10日まで 運用開始：令和4年12月11日から ストックマネジメント計画支援機能 構築：令和4年12月10日まで 運用開始：令和4年12月11日から 上記スケジュールを期限とした作業工程を企画提案書に明記すること。
	開発運営要件	要求する機能を熟知した知識・経験のあるものを含む開発・導入体制とすること。
	開発担当者要件	要求する機能を熟知した知識・経験のあるものを含む開発・導入体制とすること。
	試験	各機能の確認試験を行うこと。
	他システムとの連携	住民基本台帳システムからのデータ取り込み等に対応すること。 都市計画図・航空写真画像・地番現況図等については、市が提供するデータに対応すること。 住宅地図・基盤地図情報等については受託者取得とする。 また、構築初期においてこれらの最新のデータを搭載すること。
導入・引渡しに関する要件	環境設定	必要な環境設定を行うこと。
	データ移行	現行の下水道台帳管理システム等からデータ移行については、別途業務により市が shape、Excel、PDF、JPEG 形式として出力し、提供するものとする。
	教育・訓練に関する要件	各機能の操作説明を行うこと。必要に応じてマニュアル等の作成を行うこと。

保守・運用に関する要件	システムの運用時間	原則、平日 8 時 30 分から 17 時 15 分までとする。
	故障した際の復旧時間	速やかに復旧に係る手配を行うこと。
	運用方法	年間保守及び下水道台帳、維持管理情報の更新業務により運用を行うこと。